
記者会見資料

2016年2月12日

本日の記者会見の趣旨

■ ロッテHD最大株主の光潤社は、下記の事項をお示しするために本日記者会見を開催しました。

	概要
記者会見の開催理由	<p>主に、以下の2点をお伝えすること。</p> <ul style="list-style-type: none">■ ロッテHD最大株主である光潤社として、経営陣刷新のため臨時株主総会の招集請求を決定■ ロッテHD自体の上場を含む、経営陣刷新後の経営方針を決定
臨時総会招集請求と新たな経営方針の目的	<ul style="list-style-type: none">■ 現経営陣によってもたらされた経営権問題の早期収拾■ ロッテの祖業であり、本業である「ものづくり」の会社を取り戻す■ それらを実現した上で、ロッテグループの企業価値を持続的に向上させる
招集請求の実施方法	<ul style="list-style-type: none">■ ロッテHDの最大株主である光潤社の代表取締役である重光宏之自身が来週早々ロッテホールディングスを訪問し、佃社長に対して臨時株主総会招集請求書を直接手渡す

臨時株主総会に提案する議案の概要

- 光潤社は、ロッテホールディングスに対し、下記の4点を議案とする臨時株主総会の招集を請求することを決定しました。

	概要
第一号議案	<ul style="list-style-type: none">■ 取締役選任 重光宏之及び磯部哲を取締役として選任すること
第二号議案	<ul style="list-style-type: none">■ 取締役解任 重光武雄を除く現任取締役7名（重光昭夫、佃孝之、小林正元等）を取締役から解任すること
第三号議案	<ul style="list-style-type: none">■ 監査役選任 本村健（弁護士）を監査役として選任すること
第四号議案	<ul style="list-style-type: none">■ 監査役解任 現任監査役1名を解任すること

- 臨時株主総会招集請求は、事態の正常化に向けた大きな取り組みの一つ
- 創業者である重光武雄も、臨時株主総会の招集請求を強く支持している

臨時株主総会招集請求に至った経緯

- 光潤社が臨時株主総会招集請求に至った経緯は下記の通りです。

経緯

- ロッテグループは、創業者である重光武雄の下、菓子メーカーからスタートしました「ものづくり」の会社
- 日韓両国を中心にお客様やお得意先にご愛顧いただき、ここまで発展

- 経営権問題を早期に収拾し、お菓子を始め、お客様に愛される商品を作り出し、提供する「ものづくり」の会社に戻ることが重光宏之の使命

- 取締役候補者である重光宏之と磯部哲は共に、これまで長年にわたり、日本ロッテの開発、製造、販売など各事業の現場に携わり、創業以来大切にしてきたロッテの精神を受け継ぎ、ロッテグループの発展に貢献
- 経営刷新後の経営方針に照らして、両名とも適任

- ロッテホールディングスに対し、臨時株主総会招集請求を行うことを決定

3つの基本方針の概要

- 重光宏之が考える経営方針の概要を示すと下記の通りです。

重光宏之の経営方針	
グループ戦略の見直し	<ul style="list-style-type: none">■ 事業と地域の2軸で事業のポートフォリオを見直し<ul style="list-style-type: none">➢ 日本ロッテ：菓子・冷菓・食品事業を中核事業として、日本ロッテを中心にグローバルに事業を展開➢ 韓国ロッテ：競争力のあるサービス業及び製造業を中心としたコングロマリット体制を維持するも、中国事業など不採算事業はゼロベースでの見直し
現場を重視した経営体制の確立	<ul style="list-style-type: none">■ 祖業であり日本ロッテの中核であるメーカーの現場に精通した役員に刷新 (いかなる持株会社も本業への深い理解なしに長期的に発展可能な経営は不可能)■ ロッテの開発・製造・販売に情熱を傾け、現場を知る若く優秀な人材から取締役への抜擢■ お客様に愛される独創的な製品を生み出し続けるために、失敗を恐れず挑戦をし続けるロッテ本来の企業風土を回復し、そのためにも公正な人事評価を実現
ロッテHD株式の上場	<ul style="list-style-type: none">■ グローバル企業として成長を続けていくために、ロッテHD自体の株式の上場を目指し、①資金調達手段の多様化と、②経営の透明性の更なる向上を実現する。<ul style="list-style-type: none">➢ 現経営陣の意図する事業子会社の上場よりも、経営の透明性確保及び投資家保護の観点からも明らかに望ましい。